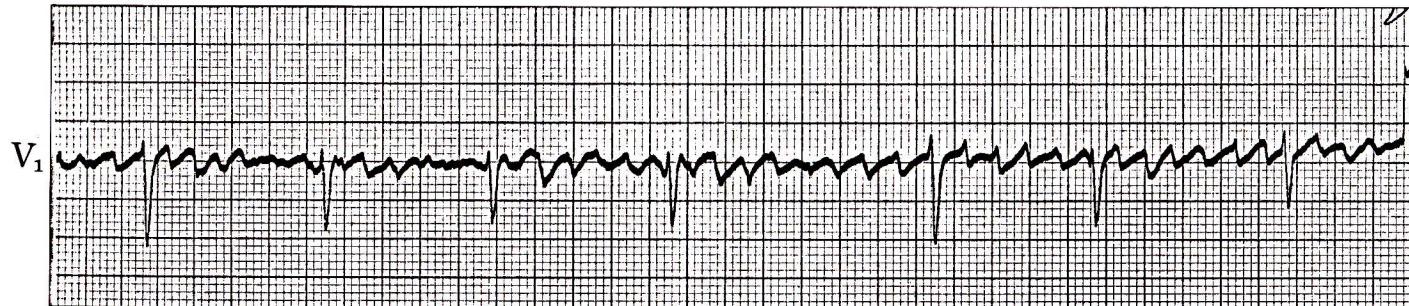


## 症例 24

●23歳 女

僧帽弁狭窄兼閉鎖不全症の患者。



- 1) 基線が細かく、不規則にゆれているが、これは何か。

**心電図診断****心房細動**

基線が細かく、不規則にゆれている( f 波)。QRS 波と 1 対 1 に対応する P 波はない。

RR 間隔は不整で、特別な規則性はない(絶対不整脈)。

**解 説**

心房細動波( f 波)は全誘導で認められるが、とくに右側胸部誘導(V<sub>1</sub>)でもっとも大きく、わかりやすい。心房細動でも心不全がなく、心拍数も 60~80/分程度で安定しているものは経過観察だけでよい。心不全がある場合にはジギタリス剤、利尿剤などによる、また心不全がなく、かつ心拍数が多い場合にはジギタリス剤、β ブロッカーなどによる治療の適応となる。